



飯綱町コミュニティスクールだより



No.15 令和3年2月1日 飯綱町コミュニティスクール

令和3年が始まり各学校も新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、3学期がスタートしました。

飯綱中学校では、感染予防のため現在休憩時等体育館の利用が出来ません。そのような時間を使って2年3組では「シトラスリボン」作りに励んでいます。「シトラスリボンプロジェクト」について理解した生徒たちは、自ら手作りをしたり、道徳の時間にプロジェクトについて学習を深めたりすることを続けています。

新型コロナウイルスに感染した方の中には、酷い中傷を受けて生活がままならなくなってしまったという方の様子が報道されていることも目にします。どんなに気を付けても見えないウイルスに対しては、誰もが感染者になるというリスクを抱えています。身近なところで感染者が出たときに周りにいる人がどのように関わっていくことが大切かを理解することは、住み良い町づくりのためには大変重要なことです。人権教育の実践としても中学生が自らの生活に他者を思いやる活動を取り入れていることは、心強いことです。また、このような実践が、飯綱町全体にも広がっていくことを願いたいと思います。

生徒が制作したリボンは、役場、メーラプラザ、コネクトイースト・ウエスト等にありますので、お持ちいただき、身に付ける等して啓発活動にご協力願えれば幸いです。

飯綱中学校の「シトラスリボンプロジェクト」の取組に対して飯綱町社会福祉協議会も賛同し、「シトラスリボン」制作の材料提供やSNSを使った啓発発信のバックアップもしています。



シトラスリボンプロジェクトとは

シトラスリボンプロジェクトは、誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ感染しても地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指す、愛媛県の有志グループ「ちょびっと19+」が進めるプロジェクトです。長野県も、「シトラスリボンプロジェクト」に賛同し、心身ともに安心した暮らしを続けられる社会を目指します。

以上、長野県ホームページから抜粋

中学校見学会

小学6年生は、4月から始まる中学生生活を前に中学校を見学しました。

三水小学校の6年生は1月13日（水）第4校時、中学校に出向いて校舎内や実際の授業を見学したり、特別教室等の施設を見学したりしました。出口教頭先生が6年生を引率しながら「英語は好きですか?」「読書は好きですか?」等と質問を交えながら説明すると、疑問に思うことを次々に質問していました。緊張した様子でしたが、教頭先生の楽しいトークで4月からの中学校生活に安心と期待の高まる時間となりました。また、1月15日（金）には、1学年主任の和田先生が三水小学校に出向き教科学習や部活動、登下校の決まりなど中学校生活の具体についてオリエンテーションを行いました。



なお、牟礼小学校6年生の中学校見学会とオリエンテーションは、1月29日（金）の予定です。



スキー教室

今年のスキー場は、昨年末からの降雪でゲレンデにも十分な積雪があり、スキーの滑走にはとても良いコンディションになっています。

町内の小学校のスキー教室は1月中に実施の予定です。

牟礼小学校は、1月14日（木）2年5年、18日（月）1年6年、20日（水）3年4年の3日間に渡ってスキー教室が行われました。2学年ずつ、ゆったりとコースを使って滑走していました。

三水小学校は、1月27日（水）に全校で行う予定になっています。



まんが飯綱今昔物語

昨年の12月19日に「飯綱今昔物語」の発刊を記念して、パネルディスカッションが行われたことは過日の新聞記事等でご覧になった方も多いと思います。「飯綱今昔物語」は小学校3年生以上、中学校全校生徒分寄贈され、授業等で活用されています。

中学校では、特別支援学級の社会科の資料として使用し、生徒が学習してまとめた作品を廊下に掲示してあります。

